

参考資料

瑞穂区の環境学習のあり方検討会の活動報告

- 瑞穂区の環境学習のあり方検討会を設置（構成員は下記のとおり）して検討（3 回開催）
- プログラムをより使いやすいものとしていくために、検討会の下に分科会を設置（構成員は下記のとおり）して、内容について検討（3 回開催）
- 区内で環境学習に活用できる場所を各学区区政協力委員長、区内公所・小中学校・幼稚園・保育園より推薦していただき、上記検討会で各学区 1 箇所及び山崎川の 12 箇所を環境学習対象地として選定
- プログラム策定の参考とするため、12 箇所の対象地のうち弥富公園南側樹林地（弥富学区）をモデル箇所として、案の段階のプログラムを実際に使用した環境学習会を開催

瑞穂区の環境学習のあり方検討会（敬称略）

会長 瑞穂区区民生活部長

副会長 ○瑞穂区区民生活部主幹（安心・安全で快適なまちづくりの企画）

委員 環境局環境都市推進部生物多様性企画室長

環境局環境都市推進部主幹（なごや環境大学）

緑政土木局緑地部緑地施設課長

○瑞穂土木事務所長

○瑞穂生涯学習センター館長

瑞穂区区政協力委員協議会議長 林 繁昌

○瑞穂区保健委員会会長 太田 節子

○名古屋市森づくりチーフリーダー 眞弓 浩二

（○印は分科会構成員）

平成 21 年 8 月 24 日（月）	検討会（第 1 回）
9 月 30 日（水）	分科会（第 1 回）
10 月 22 日（木）	モデル箇所（弥富学区）の学習会（第 1 回） ・東山植物園（東海の森など）見学会
10 月 27 日（火）	分科会（第 2 回）
11 月 18 日（水）	モデル箇所（弥富学区）の学習会（第 2 回） ・弥富公園学習会
11 月 26 日（木）	検討会（第 2 回）
平成 22 年 1 月 15 日（金）	分科会（第 3 回）
2 月 26 日（金）	検討会（第 3 回）

モデル箇所における取り組みの報告

対象地の一つである弥富公園南側樹林地のある弥富学区については、案の段階のプログラムを実際に使用し、地域の方々に環境学習に取り組んでいただきました。学習会に参加した方の声をふまえて「瑞穂区自然体験型環境学習プログラム」を取りまとめています。

1 学習会の概要

○東山植物園見学会

東山植物園の東海の森を訪ね、植物園の前園長、岡島徳岳さんらの案内でこの地方の植物や環境学習についての話を聞きました。

- ・日時 平成21年10月22日（木） 午前10時～
- ・場所 東山植物園（東海の森）
- ・講師 前園長 岡島徳岳さん 他
- ・参加者 弥富学区の方々（20数名）



講師は岡島前植物園長



東海の森を見学



植物園内のビートルバット
(甲虫類の幼虫育成用の腐葉土置場)



ビオトープを見学

○弥富公園学習会

弥富公園南側樹林地において、名古屋市森づくりチーフリーダーの眞弓浩二さんから里山についての話を聴き、実際に樹林地の手入れを実施しました。

- ・日時 平成21年11月18日(水) 午前10時～
- ・場所 弥富公園樹林地(道路の南側)
- ・講師 名古屋市森づくりチーフリーダー 眞弓浩二さん 他
- ・参加者 弥富学区の方々(20数名)



講師は眞弓さん



実地体験前の説明



皆さんで実地体験



ビートルベット完成

2 弥富公園学習会についてのアンケート結果

(1)配られた資料は、見やすかったですか。

非常に良い

5

(14)

4

(5)

普通

3

(5)

2

(0)

見にくい

1

(0)

人

(2)配られた資料について、気になった点などがあればお書きください。

- ・説明がゆっくり聞けたらよいと思いました。わかりやすく良かったです。
- ・大変勉強になりました。
- ・瑞穂区の緑地の詳細図があったら良い。

(3)今後、瑞穂区内で自然体験型の環境学習会が開催されたら、参加してみたいですか。

是非したい		普通		したくない	
5	4	3	2	1	回答無
(10)	(11)	(2)	(0)	(0)	(1)
					人

(4)環境学習などに関しご意見・ご希望があれば、お書きください。

- ・初めて体験しました。とても楽しかったです。ぜひまた参加したいです。
- ・年に2回は実施してほしい。
- ・今日の作業をもとにこれからが楽しみです。
- ・今後しっかりかかわっていきたいです。
- ・一年度に3～4回ぐらい学習があればよい。
- ・久しぶりに山で作業して気持ちよかった。人の精神衛生上も良いと思います。
- ・人の手が入らないこと自体自然にとって良いことだと思っていたのですが、そうではないことがわかりとてもおもしろかったです。ありがとうございました。
- ・何度も(複数年)学習しなければその時だけのものになってしまいます。次回もぜひ企画してください。
- ・今日はたのしかったです。勉強にもなりました。身近にこんな里山があり大切にしていきたいです。
- ・同じ場所(弥富公園樹林地)で四季に応じて継続的におこなってほしい。
- ・すばらしい内容でした。今後も参加したい。
- ・楽しく参加させていただきました。これからは、もう少し身近な自然環境に目をむけたいです。
- ・知らないことがたくさんありとても勉強になりました。
- ・見たり聞いたりするよりは体験することは、心に残ります。

《参考文献》

- 私たちの森林
社団法人 日本林業技術協会
- 葉でわかる樹木625種の検索
信濃毎日新聞
- 土と林の生き物たち
合同出版株式会社
- ドングリの図鑑
トンボ出版
- どんぐりの森林づくりのすすめ
社団法人 三重県緑化推進協会
- 森のセミナーNo.5 里山の雑木林 みんなで活かそうくらしの森
社団法人 全国林業改良普及協会
- 自然体験活動ハンドブック
岡崎市環境部総務課自然体験推進班
- イラスト里山の手入れ図鑑
社団法人 全国林業改良普及協会
- 土と林の生き物たち
合同出版株式会社
- 体験セミナーシリーズNo.1 イラストガイド「森の手入れ、森のあそび」
社団法人 全国林業改良普及協会
- 川の自然かんさつ 自然かんさつ学入門
財団法人 日本自然保護協会
- 子どもとはじめる自然「冒険」図鑑 森と遊ぶ
岩波書店
- BE-PAL OUTING MOOK「ウィークエンド野遊び・冬編」
小学館



瑞穂区の自然を学ぼう

瑞穂区自然体験型環境学習プログラム

発 行 名古屋市瑞穂区区民生活部まちづくり推進室
〒467-8531 名古屋市瑞穂区瑞穂通 3-32
電 話 052-852-9303
ファクシミリ 052-852-9306
ホームページ <http://www.city.nagoya.jp/ku/mizuho/>
編集協力 財団法人名古屋市みどりの協会
眞弓浩二（名古屋市森づくりチーフリーダー）
イラスト 株式会社アルダー環境設計室 眞弓浩二 小須田結貴

発行年月 平成 22 年 3 月
発行部数 400 部

このプログラムを掲載しているホームページ

環境情報ネット

<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/kyozai/>
名古屋市公式ウェブサイト（ようこそ瑞穂区へ）
<http://www.city.nagoya.jp/ku/mizuho/machi/>

この冊子は、再生紙を使用しています。